

請願第4号

向日市の保育の拡充を求める請願

紹介議員

常盤 ゆかり

杉谷 伸夫

飛鳥井 佳子

2014年

向日市の保育の拡充を求める請願

「子育てするなら向日市」と再び言われるために



請願理由

去年3月には向日市立第3保育所が市の施策により閉園しました。閉園の一方的通知から、わずか1年半余りのことでした。それまでに十分な説明も尽くされないままでの閉園や、引き継ぎその後のフォローを含めて行政の対応等には大きな問題があり、私たちの行政への不信は高まるばかりです。国は2015年に「子ども・子育て支援新制度」の本格実施をめざしていますが、このことと関わって市の保育に対する姿勢もますます問われることとなります。

その様な中、老朽化の進んだ第2保育所について、現時点では市の方針が何も示されていません。第3保育所閉園時のように市の一方的な決定がされることのないよう、保育士・保護者を含めた現場の声を反映し、これまで築いてきた向日市の保育が維持、向上することを私たちは願っています。

かつて向日市は「子育てするなら向日市」といわれたほど保育水準の高い街でした。しかし現在は市全域にわたる開発・宅地化とあいまって保育所入所希望者が増加し、そのため現場では「すし詰め保育」、年度途中では待機児童があり、建物・設備の老朽化・非正規保育士の増加など、多くの問題を抱えゆとりの無い保育環境となっています。そして現在、向日市「北部開発」による高層マンション建設が始まっています。マンション完成後には急激な人口増が予想され、それに伴い多くの待機児童が生み出されることがないか、と懸念されます。

子どもは地域の宝です。子どもの貧困や親の生活不安定等、社会的な問題が増加する今だからこそ、子どもの発達の保障には欠かせない保育所が、安全で安定した環境にあることが必要だと思います。

向日市の保育所をより充実したものとするために貴市議会において、ご理解・ご協力をいただきますようお願いし、以下の項目についてお願いいたします。

請願項目

1. 「子ども・子育て支援新制度」実施にあたって

- ・ すべての子どもが平等に扱われるよう、新制度が対象とする施設・事業に格差を生じさせないでください
- ・ 新制度を円滑に実施できるよう、向日市として保育に十分な予算を確保してください
- ・ 保育希望者の受け皿として、小規模保育等を増やすのではなく、より保育水準の高い公的保育を拡充して対応してください
- ・ 向日市主催で新制度の説明会を順次行い、広く周知を図ってください
- ・ 「市町村子ども・子育て支援事業計画」に市民・保護者・働く者の声を確実に反映させてください

2. 保育水準の維持・拡充

- ・ 年間を通じて待機児童(潜在的なものも含む)ゼロを実現してください
- ・ 育児休暇中の保育継続の年齢を拡大してください
- ・ 保育士の配置基準を見直し、また正規の職員を増員して、よりよい保育が行えるよう改善してください
- ・ 子どもが安全で快適に過ごせる保育環境を整えてください
- ・ 離乳食・アレルギー対策などきめ細かな対応ができる、おいしく安全な向日市の保育所給食を守り民間委託は行わないでください

3. 良き伝統の継承

- ・ 老朽化の進んだ第2保育所は、民間園として建て直すのではなく、市で責任を持って改善・改築・建て替え等の対策を早急に行ってください
- ・ 市北部の開発に伴い予想される児童数増加に対して、市の責任で的確に必要な対策をとってください

4. 情報公開

- ・ 保育行政のあり方については、随時、情報を市民に開示し、市民・保護者・働く者の声を反映させる機会を保障してください
(保育行政の制度、方針等について、決定前は「まだ決定していないのでわかりません」、決定後は「もう決定済みです」と門前払いするのではなく、随時情報公開、意見反映を行ってください)

平成26年11月27日

向日市議会議長

磯野 勝 様